

2025年度町田市総合防災訓練における医療救護活動訓練の実施について

医療救護活動訓練

目的

- 市は、地震等の自然災害が発生した際、医療救護所を設置し、急増する傷病者の救護を行う。
- 本訓練を通し、関係機関が連携し円滑な医療救護活動を実施することを目指す。

内容

【参加者】51名

町田市医師会4名、町田市歯科医師会4名、町田市薬剤師会3名、町田市柔道整復師会4名、市民ボランティア8名、町田市災害医療コーディネーター3名、町田市災害薬事コーディネーター2名、市職員23名

【日時／場所】

2025年10月26日（日）午前8時30分から正午まで／市庁舎3階3-2・3-3会議室、アトリウム

【想定】

- 当日朝6時に地震発生
- 多摩東部直下地震、マグニチュード7.3、市内震度6強
- 停電、断水、通信障害などのライフラインの被害をはじめ、建物倒壊や火災により多くの人的被害が発生

【訓練内容】

- 医療救護所の立ち上げ
- トリアージ（多数の傷病者が発生した際に、傷病の緊急度や重症度に応じて治療の優先順位を決定すること）
- 軽症者への処置、中等症・重症患者の誘導、薬剤の処方

2025年度町田市総合防災訓練における医療救護活動訓練の実施について

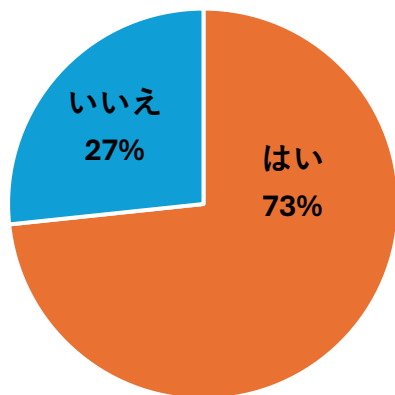
訓練の流れ



2025年度町田市総合防災訓練における医療救護活動訓練の実施について

訓練参加者のアンケート結果

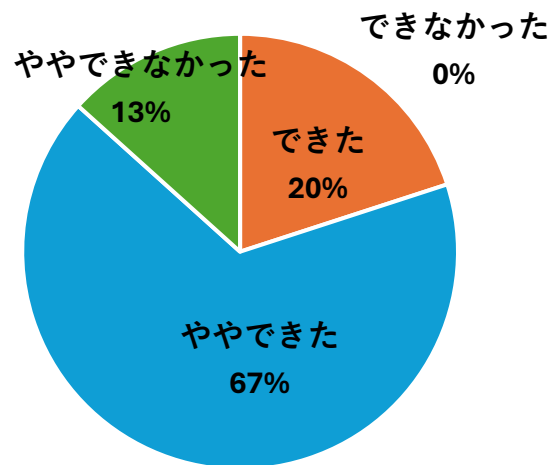
【1回目の傷病者受入れ後に振返りを行いました。その後、動線など変更したことはありましたか。】



変更した点

- ・ 疑義照会をスムーズにするため、薬剤師は調剤エリアに待機するのではなく、軽症者の診察・処置エリアに配置し、処方箋記載の補助や事前確認を行うようにした。
- ・ トリアージの際、重傷者を最優先にすることを意識し対応した。

【緊急医療救護所でご自身の担当としての役割を果たすことができましたか？】



できた

- ・ 班長（医師）から事前に説明があり、傷病の例が提示されていたことなどから、実際のトリアージ振り分けと軽症処置について滞りなく実施できた。

ややできた

- ・ 調剤の部分に関しては服薬指導のみの体験であり、役割の一部のみだった。実際は医薬品管理も重要で、提供される薬剤をいかにうまく活用すべきか、臨機応変な対応が求められると思った。

ややできなかった

- ・ 連絡事項等の確認について、もっと良い方法があったかもしれない。

2026年度 医療救護活動訓練について

訓練の予定

【日時】

2026年10月18日（日）午前

【場所】

市庁舎2階 市民協働おうえんルーム

【参加者】

町田市医師会、町田市歯科医師会、町田市薬剤師会、町田市柔道整復師会、市民ボランティア、町田市災害医療コーディネーター、町田市災害薬事コーディネーター、市職員等

【訓練内容】

- 医療救護所の立ち上げ
- トリアージ
- 軽症者への処置、中等症・重症患者の誘導、薬剤の処方